

報告事項 ケ

美術常設企画展示「生誕100年 尾崎悌之助展」の開催について

美術常設企画展示「生誕100年 尾崎悌之助展」の開催について、別紙のとおり報告
します。

平成22年3月20日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

美術常設企画展示「生誕100年 尾崎悌之助展」の開催について

1. 展覧会名	生誕100年 尾崎悌之助展
2. 会 期	平成22年4月10日(土)～5月9日(日)
3. 会 場	鳥取県立博物館 2階近代美術展示室
4. 観覧料金	一般180円(団体150円)
5. 概 要	今年、生誕100年を迎える鳥取市出身の洋画家、尾崎悌之助の画業を代表作によって回顧する。

1 展覧会の趣旨

鳥取市出身の洋画家、尾崎悌之助の生誕100年を迎えるにあたり、風土と深く結びついたその画業を振り返る回顧展を開催する。

本展覧会ではガスタンクや操車場といった特殊なモチーフを暗く、質感を強調した独特の画面に描いた1950年代初期の作品から石像や彫刻をモノクロームの画面の中に浮かび上がらせた晩年の作品まで約60点の作品によって回顧する

2 みどころ

本展覧会では県立博物館のコレクションと個人所蔵の作品約60点によって尾崎の代表作を網羅するとともに、数多くのドローイングやデッサン、雑誌や書籍の表紙や挿絵などあまり表に出ていない作品を通して知られざる一面も紹介する。

なお、今回の展覧会は没後も根強い人気のある尾崎悌之助にとって、1987年に鳥取県立博物館で開催された遺作展以来、23年ぶりの大規模な回顧展となる。

3 主な出品予定作品

《赤煉瓦と車輪》1952年 《梅雨のガスタンク》1954年 《雪の操車場》1954年
《闘牛場の壁》1961年 《ノートルダム》1961年 《雪と砂防垣》1968年
《寒村雪景》1969年 《ロマネスクへの夢》1978年 《石仏への夢》1980年 など

4 関連事業

学芸員によるギャラリートーク 4月17日(土)、24日(土)いずれも午後2時より